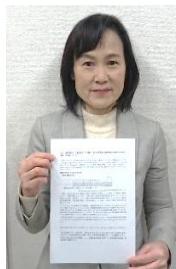


暮らしや地域からの声を受け、調査活動から市政へ提案！



●地下水汚染への取り組み

多摩地域の水道水源井戸から発がん性のある有機フッ素化合物（PFAS）が検出されたことで、その原因究明と被害の調査を求める要望書、意見書を提出しました。都議会でも生活者ネットワークはこの問題を取り上げ、健康被害、農産物、環境への影響などについて国と都に対して対策を求めました。

●在宅療養学習会

これから必要性が高まる在宅療養について、市内で訪問看護・訪問介護をされている方からお話を聞き、在宅での介護を経験した方々と意見交換を行ない、一般質問で取り上げました



●通学路の安全調査

日常的に募っている「一言提案」に寄せられた意見をもとに、第五小学校の通学路の危険箇所を調べました。通学時の見守りや道路の点検なども行なわれ、改善されました。



2018年調査

2023年



府中・生活者ネットワーク これまでの主な活動と実績

- 原発都民投票に賛同し署名活動を実施
- 放射能、電磁波、騒音などの調査、測定
- 産前産後家庭サポートの実現
- デートDV防止の取り組み推進
- 女性の視点を取り入れた避難所ガイドラインの策定
- 成年後見制度の推進
- 非婚のひとり親へのみなし寡婦控除の適応
- 福祉の総合相談窓口の実現
- 居場所としての「地域サロン」の推進
- 学校給食への地場野菜の導入
- 議会基本条例の策定
- ヤングケアラーの調査の実現
- 産後ケア事業の拡充

みなさまのカンパを募集しています

郵便振替 00180-4-602267

府中・生活者ネットワーク

ひとりにしない 子育て介護

府中・生活者ネットワーク 奥村さち子の提案

■ジェンダー平等で

人権が尊重されるまちをつくる

・性暴力やDVをなくし、被害者の支援体制を充実させる

・政策決定の場に女性の参画をすすめる

・就労支援など若者への支援を充実させる

・外国にルーツを持つ市民の権利を保障する

■誰もが地域で暮らし続けられるまちづくりを進める

・24時間対応の在宅療養の仕組みをつくる

・ケアラー支援条例をつくる

・空き家を地域の資源として

・居場所づくりなどに活かす

■持続可能なまちづくりをすすめる

・原発に依存しないエネルギー政策をすすめる

・プラスチック削減を国に求め、

市のプラスチック回収は無料にする

・水害時、ハケ下の住民には垂直避難を認め「逃げ遅れ」をなくす

・市民参加で政治を身近なものにし、開かれた自治体と議会をつくる

・個人情報情報は市独自の基準を堅持し、民間への利活用を監視する

■憲法の三原則「国民主権、平和主義、基本的人権の尊重」を守る

・子どもたちの権利条例をつくる

・ともに学びインクルーシブ教育を進める

・子どもたちが生き生きと過ごせるプレーパークや児童館をつくる

■食の安全を守る

・遺伝子組み換え、ゲノム編集食品を学校給食に使わない

・都市農地を活かし、学校給食に

オーガニック野菜の利用をすすめる

・学校給食の無償化をすすめる

・子どもの育ちを応援する

・子どもたちの権利条例をつくる

・ともに学びインクルーシブ教育を進める

・子どもたちが生き生きと過ごせる

プレーパークや児童館をつくる

